

15 絵：横山大観ほか 詞書：尾上柴舟 装幀：松田権六ほか

肇国創業絵巻

一式

昭和十四年（一九三九）紙本着色

四八・〇×八八九・四〇九九〇・二一

昭和十五年（一九四〇）は神武天皇即位から二千六百年にあたりとされ、この年、様々な「紀元二千六百年」の祝賀行事が行われた。二巻からなるこの絵巻は紀元二千六百年奉祝会（会長：公爵徳川家達）が制作を企画したもので、昭和十四年四月から翌年にかけて日本各地を巡回した「皇紀二千六百年奉賛展覧会」で展示され、展覧会終了後に奉祝会総裁であった秩父宮雍仁親王に献上された。絵巻の画題には『日本書紀』の神代から神武天皇即位までの十一の御事蹟が選ばれ、画題選定は辻善之助、考証は関保之助、詞書を尾上柴舟が担当し、絵は当時の日本画壇を代表する横山大観ほか九名の画家が分担した。いずれも端正な描線による明快な画面でまとめられており、「新古典主義」と呼ばれた、伝統へ回帰しようとする当時の日本画の傾向を示している。また、この絵巻は華やかな装幀をともなっており、当時の工芸技術の粋が集められていることが注目される。これらを担当した十一名の工芸家の名が遺されており、装幀全体の意匠および軸の蒔絵を担当したのは松田権六である。表紙裂は龍村平蔵、組紐は道明新兵衛、桐箱は山崎猪之助が担当した。いずれも正倉院宝物に範をとったもので、表紙裂は宝物の赤地唐花文錦の復元、軸首や箱は宝物の文様や形を軽やかにアレンジしてまとめている。

〈下巻・巻末〉

菊池契月

〔大國主命國土奉獻〕〈上巻・部分〉

安田毅彦

〔瓊杵尊降臨〕

前田青邨

〔熊野御難航〕〈下巻・部分〉

〈肇国創業絵巻装幀説明〉より

装幀意匠図案	松田権六
軸挽物	パイロット万年筆工場
螺鈿	片岡華江
描金	松田権六
鈔拵	大橋竹四郎
彫金	森谷栄舟
組紐	道明新兵衛
桐箱	山崎猪之助
髹漆	白川喜策
料紙	縣治朗
織物	龍村平蔵
装潢	中村豊

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

花ひらく個性、作家の時代―大正・昭和初期の美術工芸

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 50

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成二十二年三月三十日発行

© 2010, The Museum of the Imperial Collections